

諏訪木遺跡(すわのきいせき) (熊谷市)

(参考ホームページ) 諏訪木遺跡見学会

<http://nipponsanpo.fc2web.com/sanpo/sanpo20030823.html>

<http://book.geocities.yahoo.co.jp/gl/pb1500875249/view/20090615/1245012906>







関連ホームページ

http://www.kumagaya-bunkazai.jp/kounanmatinoiseki/kt05suwanokiiseki_web.pdf

すわのきいせき 諏訪木遺跡	あいちけんくまがやしおの 埼玉県熊谷市上之 2901番地他		11202	019	36°8'49"	139°24'47"	19930111 ～ 19950630	28,000	工業団地 建設工事
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項		
諏訪木遺跡	集落跡 祭祀跡 墓地跡	縄文時代 弥生時代 古墳時代 奈良時代 平安時代 中世 近世	遺物包含層 竪穴遺構 5 遺物包含層 河川跡 溝跡40 河川跡 河川跡 住居跡22 掘立柱建物跡31 柵列1 井戸跡18 溝跡72 土坑墓7 竪穴遺構4 土坑154 河川跡 土坑墓4 火葬跡3 井戸2 溝跡7 土坑7		土器 石器 土器 石器 管玉 土師器 須恵器 ミニチュア土器 石製模造品 鉄製品 銅鏡 玉類 耳環 帯金具 砥石 木製品 須恵器 土師器 須恵器 灰釉陶器 緑釉陶器 三彩陶器 瓦 土製品 鉄製品 銅製品 石製品 砥石 木製品 古銭 獣骨 陶器 陶磁器 土師質土器 鉄製品 砥石		古墳時代後期から平安時代までの河川祭祀跡が発見された。木製品の多量出土があった。 区画溝内に掘立柱建物跡を中心にした集落が展開していた。		

一乗院の右手に諏訪木遺跡が広がる



遺跡範囲



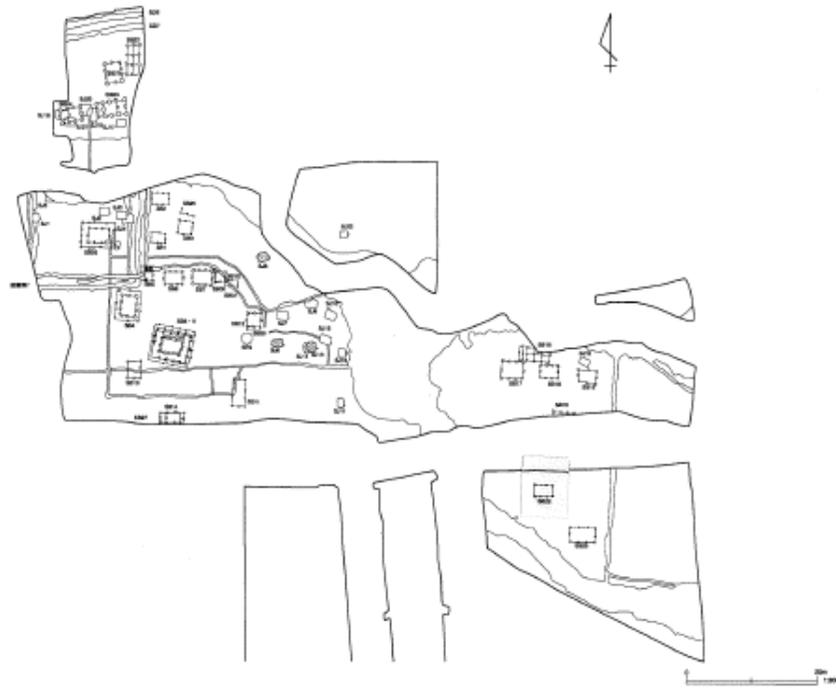
第3図 諏訪木遺跡位



諏訪木遺跡において、人々が活発に生活を営み始めるのは、8世紀末から9世紀初頭にかけてである。今回の調査により検出できた竪穴住居跡や掘立柱建物跡などの建物遺構は、この時期からで、竪穴住居跡22軒、掘立柱建物跡31棟であった。以下、時期ごとに順を追って見ていきたいと思う。

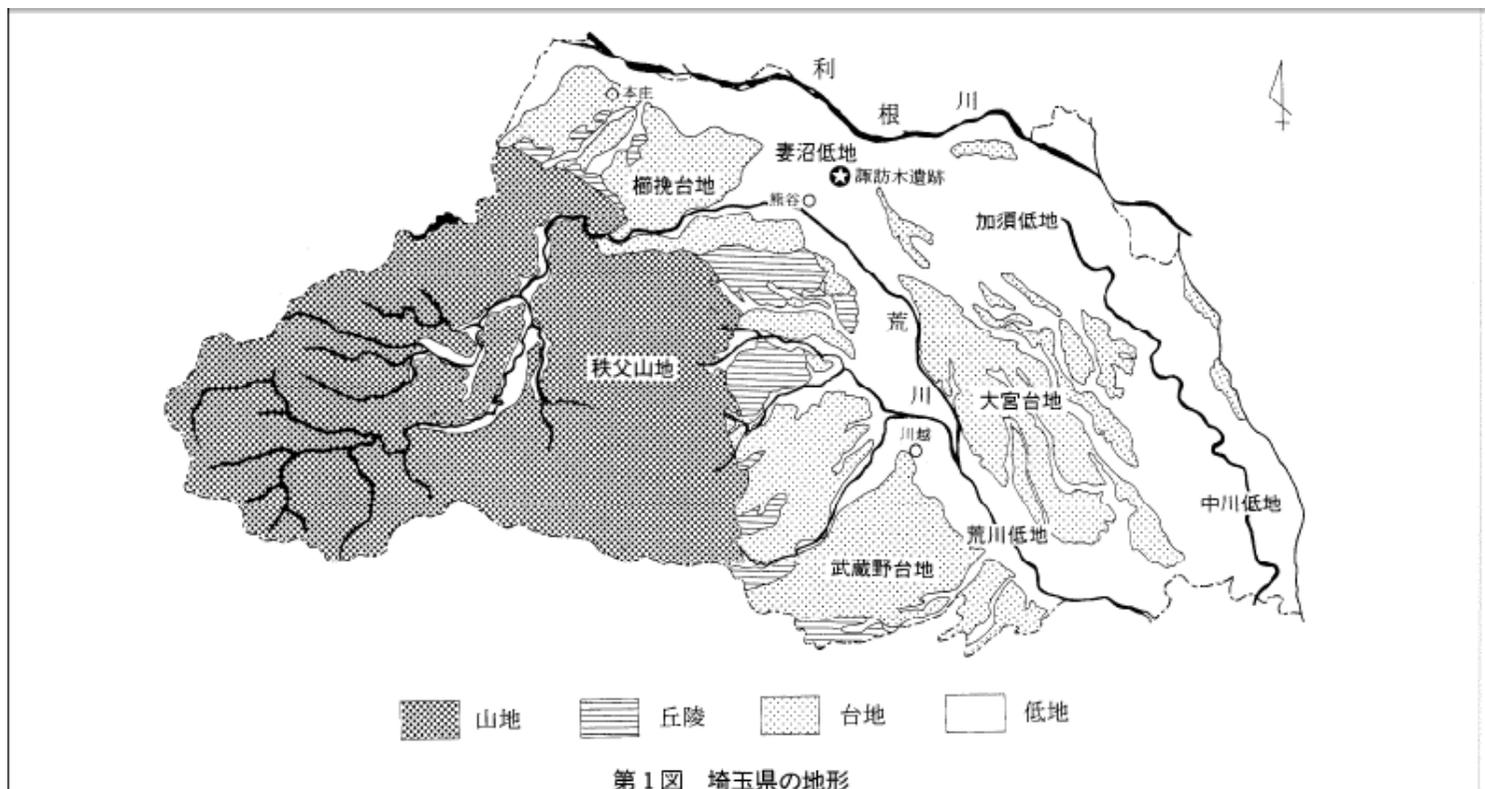
8世紀末～9世紀初頭（第308図）

当該期の竪穴住居跡は4軒検出され、3軒がまとまって、もう1軒が離れて位置している。すなわち、8世紀末から9世紀初頭の遺物を出土するIV区第1・3・4・6号区画溝に囲まれた第1区画の東、IV区第42号溝跡とIV区第3号区画溝に挟まれた場所とIV区第1号区画溝より北の地区である。



第308図 8世紀末～9世紀初頭の諏訪木遺跡

参考



左手前方が諏訪木遺跡の発掘範囲(右の道路を行くと一乗院がある)



ここにある工場の開発に先立って発掘調査が行われた





IV工区付近



V工区付近



裏手に回ってみる(右手前方が発掘範囲/Ⅲ、Ⅶ工区付近)



折角なので一乗院を覗いてみる





















その付近にこんな家がありました



